

新政レポート

vol. 15

令和3年5月17日

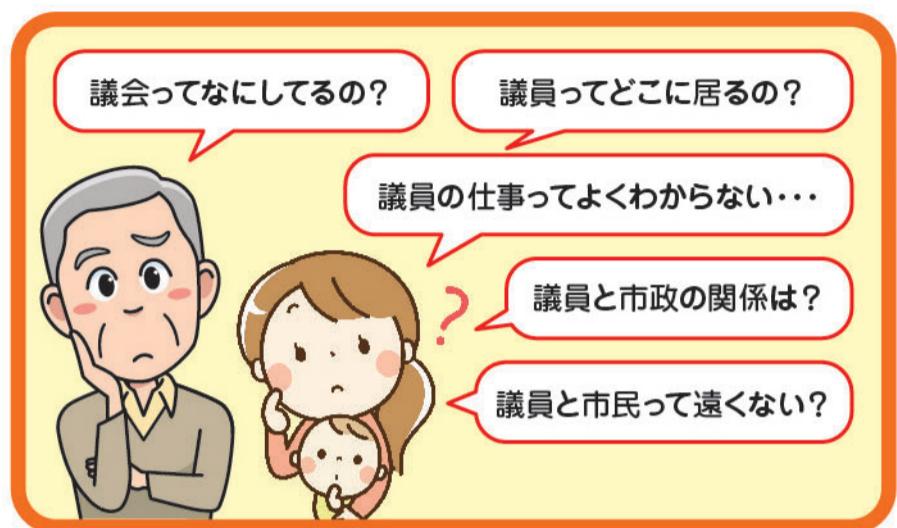
発行元

舞鶴市議会

新政クラブ議員団

責任者/飼 慶一

議会改革・議会活性化の取り組みについて



な市民の疑問を
なくすために

見える化!



- 「市民に開かれた議会」
- 「議会機能の充実」
- 「効率的・効果的な議会運営」

身近で充実した議会にするために「議会活性化特別委員会」が設けられています！

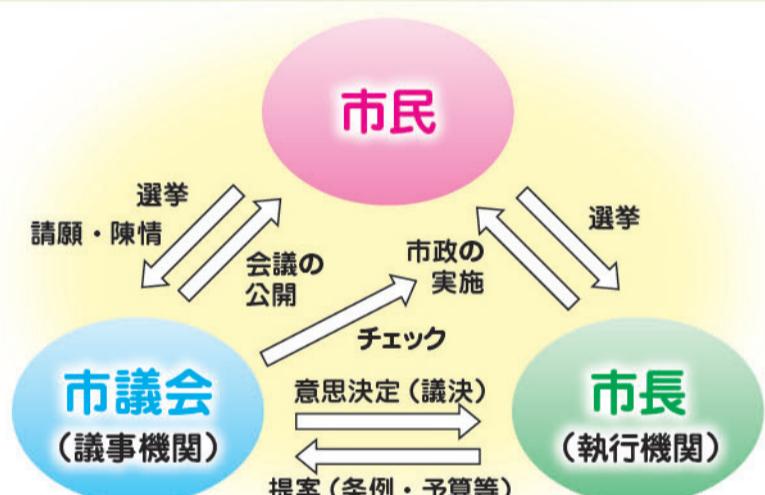
議会活性化特別委員会

議長・副議長・各会派幹事長・幹事

●会議の流れ
舞鶴市議会基本条例実行計画に基づく計画項目を委員会において議論し合意形成のもと結論を導きます。

市民の傍聴可です

舞鶴市議会基本条例～市民・市長・市議会の関係～



令和3年度検討項目（抜粋）

- 議員定数・報酬
- 通年議会
- 議会のIT化

全議員が活動内容を記入し
提出します
R1.12~R2.2、R3.2~4

議員活動の見える化

年間計画スケジュール（予定）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
他市との比較	データ収集・分析					中間評価						
市の情勢						市民意見の聴取						
市民等の意見	有識者からの意見聴取											
活動の見える化						結論						
						市民説明						

議会活動だけではなく、議員活動も含めた活動量を数値で見える化し、定数や報酬の議論に反映するものです。これは舞鶴市議会議員がどのような活動をどの程度実施しているのかを市民の皆様に定量的に知っていただくために、全議員の「標準的な活動量」を基礎資料とするためにデータ化するものです。

市民に選ばれた議員は、市民の負託に応える責務があります!!!
新政クラブ議員団は、議員としての自覚を持ち、活発な意見交換をします！

新政クラブ議員団
メンバー



3月 定例会

会期(31日間)

2月24日～3月26日

令和3年度当初予算 661億298万円
ITを活用した心が通う便利で豊かな田舎暮らしの実現

出番表

代表質問：野瀬貴則

一般質問：田畠篤子・鯛 慶一・上野修身・水嶋一明

討論：眞下貴史



副議長の今西議員

- ◆ ITを活用した心が通う便利で豊かな田舎暮らしの実現に向けた令和3年当初度予算を可決
- ◆ 新型コロナワクチン接種体制確保事業費を含む令和2年度補正予算を可決
- ◆ 新型コロナウイルス感染症対策事業継続一時支援金給付事業費を含む令和3年度補正予算を可決
- ◆ 特別委員会提案による「新型コロナワクチン接種及び経済復興等に係る意見書」を可決

令和3年3月定例会は、2月24日から3月26日までの31日間開催されました。市長から提案された議案は、令和3年度予算9件、令和3年度補正予算1件、令和2年度補正予算5件、条例16件、その他8件の39議案。

議会提案の新型コロナワクチン接種及び経済復興等に係る意見書と合わせ40件を審議し、いずれも原案のとおり承認・可決しました。

代表質問

野瀬 貴則

40年を超える原子力発電所の再稼働について市長の考え方を問う



【質問】運転開始から40年を超える高浜原発1.2号機の再稼働については、国の協力要請に対して、安全性の確認や、関係市町としてどう対応するのか大変難しい現状である。日本のエネルギー事情は安定供給という観点から、原子力発電なしでは脆弱であり、外部的な要因に左右されにくい、ベースロード電源として、今後も一定頼らざるを得ない。12月定例会において、舞鶴市議会は舞鶴商工会議所から高浜発電所1.2号機の再稼働容認を求める請願を受け、これを採択した。さらに国が主導・責任を持って安全性を確保し、緊急事態における広域避難の環境整備、再稼働の同意や財政支援等、様々な措置を立地自治体と同様の取扱いとする意見書を可決し、国に提出した。市長は再稼働について「住民や市議会の意見等を充分に踏まえ総合的に考慮し、責任ある判断をする」と答弁された。現在も福井県議会で再稼働について議論されているが、高浜原発1.2号機の再稼働について、市長はどの段階で判断するのか、再稼働についての考え方を問う。

【答弁】脱炭素社会の実現には、いかなる事情よりも安全性の優先を絶対条件に、原子力発電に一定頼らざるを得ないと考える。地域協議会において、高浜発電所を現地視察するなど、徹底的に40年超え施設の安全対策を確認してきた。



答弁する多々見市長

住民説明会では、国と関西電力にわかりやすく説明いただき、インターネット等で広く公開して、寄せられた質問や意見全てに回答を行った。また中間貯蔵施設については、関西電力はその選定に不退転の覚悟で臨むと表明され、加えて国が、事業者任せにせず当事者として最善を尽くすと厳命されたことは、国が本気で本腰を入れたと評価できる。舞鶴商工会議所の再稼働を求める請願の採択と、舞鶴市議会としての決議書、意見書については、その趣旨をしっかりと受け止めている。今後これらの状況を総合的に判断し、PAZに住民が暮らし、市全域がUPZに含まれる自治体の長として、責任ある判断を行う。

田畠 篤子

「中学校も含めた義務教育における30人以下学級を早急にすすめる意見書」への反対討論



教育現場は、「公正な個別最適化」の実現、コロナへの対応、不登校や発達障害児といった特別なニーズを持つ子どもへのさらなる充実した対応、指導方法や学習環境革新の必要性に迫られ、優秀な教員の人材を質、量ともに確保するニーズが更に高まっている。

国は公立小学校の学級編成を35人に引き下げる「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律案」を2021年2月2日、閣議決定した。

少人数によるきめ細かな指導体制を計画的に整備し、安全安心な教育環境とICT等の活用による新たな学びを実現するため、公立小学校の学級編成の標準を5年かけて35人に引き下げる。

舞鶴市では、著しい人口減少と遙かに予想を超える少子化により、既に小学校の9割は35人以下学級になっており、複式学級の学校もあります。中学校は9割が35人以上学級ではありますが、この度の、基礎定数改善と計画策定再開が実現したことに鑑み、この先まだまだ進行する少子化と社会現象の変化の中で、まずは35人学級を実現し、その評価と教員の働き方改革に取り組むその先に、「30人以下学級」を進めることが優先ではないかと考えます。よって現時点での、国への「中学校も含めた義務教育における30人以下学級を早急にすすめる意見書」の提出を求める請願に反対し討論とする。



一般質問

田畠 篤子

医療的ケア児支援の教育支援について



【質問】本市においては医療的ケア児を取りまく制度は整備され変化する社会情勢に対応頂いている。来年度、就学を迎える医療的ケア児の御家族は、東舞鶴在住であり、京都府立舞鶴支援学校行永分校への通学をご希望されている。自宅訪問の授業ではなく通学が希望である。西舞鶴への本校通学は遠くて体力的に難しい。行永分校は、自宅療養児の通学が対象ではないが、本市として、そのご希望が叶えられる支援が出来ないかお尋ねする。

【答弁】主治医とも連携し本人・保護者の教育的ニーズや要望を把握する中で、本人に最もふさわしい環境の学校に就学することが適切である。現行の制度では在宅の子どもが支援学校行永分校へ通学することは難しく、入学について市が支援することも難しい。これまでから支援学校とは教育相談において連携してきたが、新たに子ども支援課に医療的ケア児支援担当課長が配置され教育委員会としても更なる連携強化は図ってまいりたい。



一般質問

水嶋 一明

京都府及び舞鶴市の高野川浸水対策等工事の進捗状況は



【質問】京都府において河口から堀上橋までの拡幅工事や護岸工事等を進められているが、その工事等の進捗状況や大橋架け替えの計画内容は。

【答弁】京都府で実施されている整備状況は、河口から国道175号線までのうち160mについて補強工事を発注され、工事着手に向けて準備されている。また、架け替えが必要となる大橋は、歩道橋として架け替える計画で検討を進められている。

【質問】昨年の9月定例会で、京都府の用地取得は面積比で約5割契約完了をされたとお聞きしたが、その後の用地取得の進捗状況は。

【答弁】京都府においては、西側は面積比で約8割の契約が完了している。来年度以降も引き続き護岸工事等を進め、浸水被害が最も大きい河口から堀上橋までの第1期区間が令和5年度末に完成できるように事業を推進されると伺っている。

【質問】舞鶴市が実施しているポンプ場整備や逆流防止施設の整備状況は。

【答弁】本市が実施する内水対策は、高野川東側では、大手、竹屋、静渓の3か所のポンプ場の整備、西側は、寺内、松陰のポンプ場と寺内ポンプ場から新大橋までの区間約300mの水路整備を計画している。

竹屋、静渓ポンプ場は、令和3年度発注に向けて協議調整等を進めており、寺内、松陰ポンプ場も用地取得等に取り組んでいる。

第1区間の令和5年度完成を目指し、第2期区間900mも引き続き実施していく。

本会議討論

眞下 隆史

コロナ禍で市税減収も財源確保を評価



令和3年度3月定例会に提案された全議案に對し、賛成の立場で討論する。

令和3年度一般会計において新型コロナとの闘いが続く現在、市税収入が落ち込み財政状況が厳しくなることは言うまでもなく、国による明確な財政補填が提示されていない中、地方債でありながら後に交付税措置がなされる臨時財政対策債を大幅に増額することで対応し、必要になる財源の確保がされていることを高く評価する。事業内容では移住定住の推進が図られ、人口減少が課題である舞鶴市において、コロナ禍によって新たな人生設計や働き方を模索中の、都会で暮らす人々を舞鶴市へと導く積極的な事業であり、コロナパンチを人口維持・増加のチャンスに変え得る取り組みであり、期待する。

令和2年度一般会計補正予算第10号は、一刻も早い対応が必要との判断から議会初日の審査を求められ、主な事業は新型コロナウイルスワクチン接種に対

一般質問

上野 修身

舞鶴市消防について



【質問】令和2年における火災について伺う。過去5年間を見ると、本市の火災は年間平均して約17件であったのが、昨年は31件と大幅に増加している。本年も1月・2月の2ヶ月で9件と多発している。火災の多発している要因と対策について伺う。

【答弁】令和2年の火災件数は31件で、平成19年以来13年ぶりに25件を超えた。本年においても1月・2月の2ヶ月で9件の火災が発生しており昨年同期の約2倍となっている。火災件数が増加した主な要因であるが、前年には発生しなかった「たき火」の5件、「放火の疑い」の3件が、影響したものと考える。予防対策については、昨年5月に北吸地区、浜地区において放火と疑われる火災が3件続いたことから舞鶴警察署とも連携し消防車両による夜間巡回パトロール、リーフレット、メール配信サービス、報道機関への情報提供などにより市民の皆様への注意喚起に努めた結果、その後、同様の火災は発生していない。また、連續して火災が発生した9月、火災件数が25件を超えた11月にも、メール配信サービス・広報車による巡回広報などを行い、注意喚起を実施してきた。さらには、本年2月にも連續して火災が発生したことから、昨年の対応に加え防災行政無線を活用して注意喚起を行っている。以降についても「春の火災予防運動」や、「山火事予防運動」の中でも、各消防団の協力も得て火災防止対策を強化してまいりたい。

一般質問

飼 慶一

中舞鶴に新たな公共交通の推進を



【質問】10年前に今後訪れる高齢化社会を見据えて、中舞鶴も自主運行バス設置の提案を地域でさせて頂いた。当時、地域の皆さんは、身体も心もお元気でその提案は棄却された。

しかし10年たった今、高齢化に伴う免許証の返納や、バス停までの徒歩移動が困難になり、地域の皆さんのがグリーンストローモビリティを活用して、バス停までの送迎を地域で支えられないかという機運が出てきた。

グリーンストローモビリティとは、地域が抱える様々な交通の課題の解決と、地域での低炭素型モビリティの導入を同時に進められる移動手段の一つとして掲げられている。

実現には多くの規制や課題がある事は承知しているが、市はこうした地域の取り組みの実現に対し、支援等を検討して頂くお考えがないか伺う。

【答弁】時速20km未満で公道を走る4人乗り以上の電気自動車の事がグリーンストローモビリティであると認識している。

地域住民の移動を支える取り組みについては、様々な立場の住民の皆さんが実現に向けて将来を見通した持続可能な運営体制などの仕組みづくりについて協議頂く中で合意形成を図る必要性があると考えている。

また、現在公共交通を担って頂いている交通事業所との調整や法規制等でクリアすべき課題等もあると思われることから、市としては地域の皆さんと対話を重ねる中で、必要な施策や関係機関との調整を行ってまいりたいと考えている。

する事業であり、令和2年度補正に引き続き同事業の予算を確保、そして本定例会で予算拡大され計画的により早く対応がされていることを高く評価する。昨年9月から全面通行止めとなっている舞鶴クレインブリッジについて、全国的にも事例が少なく対応が困難と思われる中、しっかりと国の補助金を確保され早期に復旧工事が計画されたことに対し感謝と敬意を表する。

舞鶴市子育て交流施設条例の一部を改正する条例制定については、「あそびあむ」の入場料金を市外からいらした利用者の方からは1人200円を頂くこととなる。理由は市外利用者の割合が27.7%あり、利用者人数に対する「あそびあむ」職員のコスト計算では1人700円が必要であることと、市内利用者の利用ニーズに対しより一層のサービス提供ができる施設運営に向けたものであり、「あそびあむ」にしかできない特徴ある施設に更なる推進を期待する。

全般を通じ、こうした現在のコロナ禍に対し舞鶴市はデジタル化等、全国の中でも大変積極的かつ先進的に事業を展開・推進されていることを高く評価し、賛成討論とする。

4月臨時会

会期(1日間) 4月28日

出番表

討論:野瀬貴則

第40号議案 専決処分の承認を求めることについて

令和3年度舞鶴市一般会計補正予算(第2号)

◆子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費5,230万円を承認

第41号議案 令和3年度舞鶴市一般会計補正予算(第3号)を可決

第42号議案 令和3年度舞鶴市駐車場事業会計補正予算(第1号)を可決



討論

野瀬 貴則

様々な支援を全市民に届ける施策の実現を



全議案について承認及び賛成する。

第40号議案、令和3年度一般会計補正予算(第2号)の専決処分では、本来議会の議決・決定が必要な事案であるが、今回の補正予算案に関しては地方自治法第179条に基づく、緊急の場合の専決処分だと理解する。

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業により、ひとり親世帯へ対して5万円の給付金を1日でも早く給付を行うために早期の実施が必要であり、多くの市民生活の支援につながることから承認する。

第41号議案、令和3年度一般会計補正予算(第3号)では、新たに東西の駅に導入された交通系ICカード「ICOCA」の利用促進に向け、2,000円で4,000円分使える発行キャンペーンの実施や、東西駅前駐車場での精算など、様々な施策が提案されている。ICOCAはチャージ式であるため、使いすぎ・紛失に対するリスクが低く抑えられ、かつ、

カード式なのでスマホを持たない子どもや高齢者も含めて多くの方に使っていただける、全世代に対応したキャッシュレス決済である。行政の窓口や他の交通機関での使用など多くの場所での普及を期待する。教育費では市内小中学校のホームページシステムを一新し、家庭での学習や学校からの連絡、資料の配布も行えるシステム改修である。ホームページやスマートアプリの即時性や利便性を十分に活かし、また一方的な通知だけでなく、学校と保護者が双方向での連絡が取り合えるものになることを期待し、賛成する。緊急事態宣言下で多くの活動が制限される中、様々な支援策に対して、本市の「市民のために1日でも早く実施したい」「一人でも多くの方に使っていただきたい」という考え方には大いに賛同するところであり、引き続き迅速かつ的確な対応を願う。



コロナ禍での新政クラブ議員団の取り組み

いよいよ高齢者のワクチンが開始になります!

ワクチン接種シミュレーションへの参加

※課題を市の対策本部に報告



接種しやすい服装だと
スムーズに進行します。



安全対策のため
車椅子に付き添います。

テレワーク会派会議

会派では、毎月定期的に
リモートによる会議を行っています。



市民の皆様へお願い 「切り布」募集!

用 途：医療施設内のコロナ感染予防対策としての毎日の拭き掃除（消毒液を浸して使用）



大きさ：20cm×20cm（大体）

素 材：綿

方 法：10枚を輪ゴムで止める

持ち込み場所：フレアス舞鶴（中総合会館5F）

平日 9:00～17:00

※Tシャツやシーツ等が嬉しいです



新政クラブ議員団